

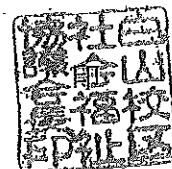
H27 年 / 月 20 日

（あて先）熊本市長

住所熊本市中央区

団体名 白山校区社会福祉協議会

代表者 職名 会長 氏名 大久保 多香



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成26年 4 月1日付け指令（市協）第 1-10 号により、平成26年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

「つながろう白山～みんなで元気」健康まちづくりへの取り組み

2 助成事業の実施期間

H26 年4月 1日 ～ H27年 1 月 20 日

3 助成事業の内容

校区単位の健康まちづくりを進め、H26年11月22日（土）「つながろう白山～みんなで元気」朝の部「第1回わくわくウォーキング」昼の部「健康づくり無料体験コーナー」を開催

4 事業の成果

白山小PTAと協働することで、今まで関心の薄かった保護者世代からの参加を得た。多くの住民がイベントに参加したことで、皆で一緒に楽しみながら健康への意識向上が図れた。

また、準備の段階で他団体や行政と協力することで、団体間のつながりが深まり、他の団体での健康についての会合にも協力要請が来るなど、まちの活性化にもつながった。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

平成26年度	
事業名	「つながろう白山 みんなで元気」健康まちづくりへの取り組み
目的	白山校区ではH24年度から社協を中心に「校区単位の健康まちづくり」に取り組んでいましたが、特定健診の受診率が低く有所見者もやや多い現状にあります。この2年で地域の役員やリーダーの方々には「健康まちづくり」への理解ができてきましたが、住民の方々へはまだまだ浸透していないのが現状です。そこで今回PTAと協働することで、保護者世代からの生活習慣病の予防への意識を深めるとともに、取り組みを通じて世代間交流を図り活気のある元気なまちづくりを目指します。
事業期間	H26年 4月 ～ H27年 1月
具体的な事業内容	白山小PTAが毎年単独で開催していた「白山まつり」とタイアップして今年度は一般住民の方々を対象に健康イベントを開催する。 1. 「つながろう白山～みんなで元気」企画委員会活動 ・4月、5月～小学校、PTAの代表者、高齢者包括支援センターささえりあ白川、校区担当保健師に「つながろう～白山みんなで元気」への取り組みに校区社協より協力を依頼。 ・5月14日第1回企画会議を白山地域コミュニティセンター会議室にて行った。会議のなかで、当初小学校校庭で行う予定だったウォーキングのイベントを、参加者にとって校区内道路の方がより楽しいということで変更。白山小を起点終点とする3コースのウォーキングマップを作成することにした。健康ブースについても、雨天の場合を考え、体育館内でPTA主催の『白山まつり』バザーと同時開催とした。 11月のイベントを早めに校区住民の方々へお知らせし、ウォーキングへの参加を促すためにも、健康講座「15分続けて歩こうPJ」を6月18日(水)に白山コミセン2Fホールで絹原整形外科の絹原先生を講師に開催することとした。講師依頼と回覧用チラシ作成・印刷は校区社協とささえりあ白川です。 ・第2回企画会議6月17日、上記のメンバーに青少年育成協議会からも入ってもらって、イベントの進め方、具体的内容について検討した。開催日も11月22日(土)と決定。 ・6月18日には上記健康講座「15分続けて歩こうPJ」を白山コミセンで開催。50名の参加があり、正しい姿勢での歩き方など介護予防について学び11月のイベントの宣伝もできた。 ・7月5日、社協理事会にて各町内会長へ協力を依頼し、承認を得た。 ・7月15日、企画会議に校区の体育協会からも来てもらい具体的にウォーキングのやり方について協議した。講師については地域リハビリテーション広域支援センターたくま台の理学療法士、山田隆治先生にお願いすることとし、後日、ささえりあ白川職員とともに挨拶にいき協力を依頼。無料で引き受けていただいた。企画会議の中で校区内道路を安全にウォーキングするためには、校区の消防、交通の各団体の協力が必要ということで、9月の会議から入ってもらうようお願いの連絡をし快諾を得た。 ・9月から企画会議のメンバーが増えたことと、関係諸機関との話し合いを深めるため、朝の部「わくわくウォーキング」と昼の部「健康づくり無料体験コーナー」の企画会議のメンバーを分けて別々に開催することとした。

・9月22日朝の部企画会議、ウォーキングの指揮系統を体協長にお願いする体協・消防・交通の皆さんで、3コースのウォーキングの先導をすることなどを決定。参加者募集についての案も検討。その他、校区社協ボランティアでイベント当日豚汁を参加者にふるまうことも決定した。

昼の部に関しては17日に企画会議、校区保健師が中心となって担当する。また、昼の部の小学校保健委員会児童のクイズコーナーは養護教諭が手配をしてくれることになる。

・10月22、29日朝の部企画会議、イベントで使用する万歩計（歩数計）の購入先を検討し予算と同額で校区の店舗ELLEに注文する。作成したリーフレットに書き込み用のマーカーはボールペンに変更し校区内事務用品店エスエス斎藤に注文。イベント当日の貸し出しと回収についても話し合う。

イベントの広告に使用するポスター、回覧用チラシ等の原稿も最終のチェックをし、印刷、10月20日に各町内へ配布。24日には小学校で各家庭に配布してもらう。ポスターは各町内掲示板、白山小学校、白山コミセン、白山幼稚園内子育て支援センター、新聞販売店、病院受付等にはってもらった。近隣の校区へはささえりあ白川を通じて社協と民児協へ案内をした。

マップ付リーフレットも健康啓発の文章とマンガつきで作成印刷。

当日の1日保険も、社協のボランティア行事保険に申し込みをする。

熊本北警察署に道路使用許可申請書を届ける。

・11月 実際に万歩計をつけて、ウォーキングの予行をした。そのうえで、各関係機関、団体と15日に最終打ち合わせ。白山コミセンにてウォーキングの事前受付の申し込みも始まる。前日までに104名の申込みがあった。

17日に白山コミセンで朝の部、昼の部全員で22日のイベント当日の最終確認をする。イベント時に必要な案内板、名簿、名札、ゴミ袋等の準備をする。

21日豚汁材料の買い出し22日朝8時より白山コミセン調理室にて調理

22日全イベント終了後、当日スタッフもふくめ白山コミセンで反省会をし、企画委員会を解散終了とした。

反省会では、ウォーキングについては参加者のスピードを合わせる事が難しかった。せっかく神社に行ったので、そこで話が聞ければなおよかった。等々

健康づくりコーナーでは、自身が糖尿病と気づいてない方3名を見つけられたこと保護者世代に啓発ができたこと等の話が聞かれた。

2. 「つながろう白山～みんなで元気」イベント当日（詳細は別紙資料）

11月22日（土）

朝の部 第1回白山わくわくウォーキング

場所：白山小学校運動場と校区内道路

8時30分本部テントで受付開始、必要な方には万歩計を貸し出す。

参加者131名（一般住民87名 PTA保護者17名 児童・幼児27名）

スタッフ41名（社協・PTA・体協・消防・交通・青少協・ささえりあ）

9時00分 開会 あいさつ、当日の流れについて説明後

・山田先生と助手の先生によるウォーキング指導

二人一組になり、運動場を使ってお互いに姿勢や歩幅をチェックしあい、美しく心地よく歩くためのフォームを学ぶ。

・その後、3コースに40～50人2列の隊列を組み、体協・消防・交通・ささえりあ白川のスタッフが前中後についてウォーキングに出発

・白山校区の道路を2キロ余り、3コースとも神社で折り返して白山小へ戻った。

早いコースで30分、長いコースでも45分後には帰着。

・帰着後、参加者は受付でリーフレットをもらいボールペンで自分のデータを記入持ち帰って今後の生活の中で活かしていただくようスタッフからお願いする。万歩計は回収。

その後、全コース参加者が戻ってから、もう一度運動場を使って山田先生の指導

	でクーリングダウンをおこなった。 10時45分 閉会 体育館で11時から始まる昼の部の案内もする。 ・朝から校区社協ボランティアの皆さんが白山コミセン調理室で作った豚汁を参加者のみなさんで食べてもらって散会した。 当日は、天気にも恵まれ参加者の皆さんからは『みんなで一緒に歩いて楽しかった。』『自分の住んでいるまちを歩くことはあまりなかったので、白山校区を知るいい機会になった。』などの好評な声が聞こえた。 昼の部 健康づくり無料体験コーナー 場所：白山小学校体育館（PTA バザー会場の一画） 時間：11時～13時半 内容：体組成測定、簡易血糖値測定、血圧測定、医師による相談、栄養相談、歯科相談（フッ化物洗口体験）の各コーナー（保健師と医師・行政スタッフ9名） 相談者数48名（40歳未満14名、40歳～64歳13名、64歳以上21名） 小学校保健委員会クイズコーナー（委員会児童と教諭、社協ボランティアメンバー） 参加者42名（児童のみ） 朝の部の流れで、前半は高齢者の相談が多かったが、昼食後に保護者世代の相談が増えた。40代で5名の血糖値異常が見つかり、このような場で測定を実施した効果があった。 保健委員会児童のコーナーでは参加児童が自分たちの体について学んだことをクイズにして楽しんだ。「うんちマン体操」も好評だった。 3. 報告書を作成・配布。 ・12月、イベントの写真等を白山コミセンに張り出して来場者に見ていただく。 ・1月20日に作成した報告書を印刷、配布 配布先：まちづくり推進室、市社協、コミュニティセンター、小学校等
活動場所	会議場所：白山地域コミュニティセンター イベント実施場所：白山小学校運動場と校区内道路 白山小学校体育館
期待される効果	今回の事業は多くの校区団体や事業所、行政の協力を得て開催されました。校区社協としては初めてのイベントであり、会議に限らず何度も打ち合わせや相談をしました。そのなかで多くの人とのつながりが深まり、社協が取り組んできた「健康まちづくり」へ協力しようという気運が白山校区に盛り上がりました。子育てネットワークや小学校の会合、老人クラブ、高齢者サロンなどいろんな機会に「つながろう白山～みんなで元気」の宣伝をしたことで、保育園児から80歳以上の方まで幅広い参加者が集まりました。幅広い年代の方々が一緒にウォーキングをしたり、健康コーナーに参加したことで、個人の健康についての意識向上だけでなく、みんなで、まち全体で健康を考えていこうという意識向上も期待できました。実際に町内会の会合によれば、保健師やささえりあ職員から町民の方々に話をしてほしいという依頼もありました。 今回の事業を通じて団体同士、住民同士のつながりがより深まったと思います。今後、新しい事業やネットワークを構築するときによりよい効果が発揮されると思われます。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	74,720	H26年度白山校区社会福祉協議会当核事業費
	市民公益活動支援助成金	110,000	当該事業助成金交付決定額
	その他の補助金・助成金		
	寄附金・協賛金	40,000	白山地域コミュニティセンターより 20,000 円 白山校区体育協会より 20,000 円
	その他		
	計	224,720	
支 出	助成対象経費	人件費	
		報償費	
		役務費	27,802 ポスター64枚 13152円 回覧用用紙印刷代 4円×1620枚=6480円 PTA・児童用〃 7円×500枚=3500円 印刷用紙代 750円×1=750円 1日保険代 28円×140人=3920円
		使用料・賃借料	5,500 白山コミュニティセンター会議室使用料 500円×11回=5500円
		消耗品費	7,394 記録用ノート・ファイル 641円 インク 3888円 名札 600円 イベント当日用ゴミ袋等 2265円
		旅費	
		備品購入費	120,000 万歩計 1100円×100個=110000円 ボールペン 140個 10000円
		その他	18,348 マップ付リーフレット 300枚製作費 18348円
		小計	179,044
	助成対象外経費		20,000 イベント当日・スタッフ弁当代
			25,676 イベント用豚汁材料代 13242円 参加児童景品代 9698円 講師お土産代 2736円
		小計	45,676
	計	224,720	